

中学生折り鶴平和使節団広島訪問 8/1~3

## 戦争の記憶を語り継ぐために



1

平和の大切さを次世代に伝えていくため、中学生折り鶴平和使節団が被爆地である広島を訪問しました。参加した10人の中学生は被爆した校舎や遺品などを見学したり、被爆体験者の講話を聴いたりして、戦争の悲惨さを学びました。また、広島平和記念公園では中学生らが折った千羽鶴を慰霊碑である「原爆の子の像」に捧げ、平和への願いを届けました。

1 被爆体験者の講話に耳を傾ける 2 被爆した校舎内を見学 3 平和記念公園でボランティアガイドの話を聞く 4 千羽鶴を献納



2



3



4

三里塚祇園祭展・佐原囃子と踊りの実演 8/1

## 伝統のにぎわいを楽しむ

三里塚祇園祭が中止となったことから、地域の人に少しでも祭りの雰囲気味わってもらおうと「三里塚祇園祭展・佐原囃子と踊りの実演」が三里塚コミュニティセンターで開催されました。お囃子と踊りを披露したのは、魁會と明光會の2組。しの笛や小鼓、和太鼓などの軽快な音色と踊りで観客を楽しませました。アンコールでは、出演者からの呼び掛けに応じた観客が踊りに参加する場面も見られ、会場は大いに盛り上がっていました。



扇子を持って軽快に

日暮えむ講演会 7/16

## 続けることの大切さを学ぶ

4月に小規模特認校となった豊住小学校で、同校出身の漫画家・日暮えむさんによる講演会が行われました。地域の特性を生かした特色ある教育を行うことができる小規模特認校。今回は地域住民との交流学习として日暮えむさんが講師として招かれ「自分の夢をかなえるには」をテーマにした講演や漫画教室を行いました。参加した児童の一人は「将来のために好きなことを続けていきたい」と笑顔で話していました。



どんな漫画が描けたかな

## 成田市とつながろう

市では、イベント情報や緊急情報など、皆さんの役に立つさまざまな情報をSNSで配信しています。



成田市LINE



成田市広報課Facebook



成田市広報課Instagram  
#なりたさんぽ

キッズタウンNARITA 8/7・8

# 働いて遊んで社会を体験



1



2



3



4

子どもたちでまちを作り、社会の仕組みを学ぶ「キッズタウンNARITA」が、もりんぴあことうで開かれました。59人のこども実行委員が企画・運営を行ったこの催しは、まちの住人となった子どもたちがハローワークで仕事を探して働き、もらったスター(給料)で買い物やゲームを楽しむというもの。参加者は、いろいろな仕事を体験し、稼いだスターで射的や巨大迷路などを楽しんでいました。

1まずは市役所で市民登録2ハローワークで仕事探し3迷路から脱出成功4宣伝用ポスターも手作り

新生成田市場 8/6

## 農林水産副大臣が現場を視察

1月中旬の開場を予定している新生成田市場へ、宮内農林水産副大臣が視察に訪れました。宮内副大臣は市役所で小泉市長と会談した後、建設中の新市場へ。生鮮食料品の加工施設や、輸出手続きを行う施設などを視察しました。宮内副大臣は新市場について「成田空港に隣接し、場内で輸出手続きができる日本初の生鮮食料品の輸出拠点として、国が掲げている農林水産物・食品の輸出目標の達成に向け、大いに期待している」と話しました。



説明を受ける宮内副大臣

「原爆の図」展ギャラリートーク 8/14

## 作品に込められた思いを知る

終戦記念日を前に平和の尊さを多くの人に考えてもらおうと「原爆の図」展ギャラリートークがスカイタウンギャラリーで開催されました。「原爆の図」は画家の丸木位里・俊夫妻が、原爆の被害の実態を生々しく描いた作品。原爆の図 丸木美術館の学芸員である岡村幸宣さんにより、一つ一つの絵について丁寧な説明が行われました。作品に込められた丸木夫妻の思いを知り、来場者は時折うなずきながら耳を傾けていました。



説明に聞き入る来場者たち

※マークが付いたイベントは、Facebookでも配信しています。